

国東市歴史体験学習館年報

弥生のムラ 安国寺集落遺跡公園

平成 21 年度

国東市歴史体験学習館

はじめに

国東市歴史体験学習館は、国東市の文化遺産である国史跡安国寺集落遺跡を整備し、保存するとともに、「知る・創る・触れる・育てる」をモットーに弥生時代の疑似体験ができる教育施設として設置されました。

当館は、収集・展示等の博物館活動をはじめ、安国寺集落遺跡公園を活用した古代びとの技や知恵を遊びながら学ぶことができる体験学習施設及び地域住民が豊かな文化生活を営むための文化施設として活用されています。

本年度は、大分県地域文化芸術振興プラン推進事業として「未来に受継ぐ国東の文化遺産展」を実施しました。この事業は、国東に残っている民俗文化財や市民所有のお宝や当遺跡出土品などの企画展示・講演会などで、公園の特色を最大限に活用した取り組みや市内の児童・生徒をはじめ市民に親しまれる館を目指しています。

館主催の諸行事を通して、弥生時代終末の安国寺集落遺跡を理解していただくとともに、弥生びとの疑似体験を体感しながら自ら考え行動する場、市民の憩いの場としてより多くの方々にご利用いただけるよう取組んでまいります。

また、豊かな文化財が残っている国東を訪れた方々に、国東の歴史・文化財を紹介し、国東特有の文化への理解を広める施設となるように努めたいと思っております。

最後になりましたが、弥生のムラ インストラクターの皆様をはじめ多くの方々の御支援・御協力を賜り心より感謝申し上げます。

平成22年3月

国東市歴史体験学習館

館長 猪俣利治

目 次

平成 21 年度

| | | |
|------|-----------------------|----|
| I | 国東市歴史体験学習館の沿革 | 3 |
| II | 安国寺集落遺跡の概要 | 3 |
| III | 館日誌 | 3 |
| IV | 事業の内容 | 6 |
| 1 | 展示部門 | |
| | 1) 常設展示 | 6 |
| | 2) 特別展示 | 6 |
| | 3) 映像ホール | 6 |
| | 4) 企画展示 | 7 |
| 2 | 教育普及部門 | |
| | 1) 歴史講座 | 7 |
| | 2) 弥生のムラ 1泊2日古代への旅 | 8 |
| | 3) 古代土器づくり講座 | 9 |
| | 4) 古代かずら工芸講座 | 9 |
| | 5) 古代編物講座 | 10 |
| | 6) 古代トンボ玉講座 | 10 |
| | 7) 刊行物 | 10 |
| | 8) 広報活動 | 10 |
| 3 | 体験学習部門 | |
| | 1) 常設体験 | 10 |
| | 2) 予約体験 | 11 |
| | 3) 企画体験 | 11 |
| | 4) 弥生のムラ年中行事 五節句 | 13 |
| 4 | 弥生のムラ祭り | |
| | 1) 弥生のムラ くにさき古代祭り2009 | 14 |
| 5 | 協議会・委員会 | |
| | 1) 国東市歴史体験学習館協議会 | 15 |
| | 2) 弥生のムラ小中学校連絡協議会 | 16 |
| | 3) 弥生のムラ インストラクター協議会 | 18 |
| V | 館機構 | 20 |
| VI | 施設の概要 | 21 |
| VII | 平成21年度入館者・体験者数 | 24 |
| VIII | 収蔵資料 | |
| | 1) 寄贈図書送付団体 | 24 |
| IX | 国東市歴史体験学習館条例・規則 | 24 |

I 国東市歴史体験学習館の沿革

- 1949～1952 安国寺遺跡調査第1次発掘調査（大分県教育委員会）～
安国寺遺跡調査第5次発掘調査（九州文化総合研究所及び県教委共同）
- 1957.03.26 安国寺遺跡中心部が県史跡に指定
- 1958.03 『大分県国東町安国寺弥生式遺跡の調査』刊行
- 1985～1987 安国寺遺跡遺構確認調査（国東町教育委員会）
- 1992.04.03 安国寺集落遺跡が国史跡に指定
- 1997.05.20～ 史跡整備に係る発掘調査（国東町教育委員会）
- 2001.04.20 国東町歴史体験学習館竣工式
- 2001.04.21 国東町歴史体験学習館開館
- 2006.03.31 国見町・国東町・武蔵町・安岐町が市町村合併による国東市誕生に伴い国東市歴史体験学習館に改名
- 2009.06.27 国東市に第1次安国寺集落遺跡出土品返還

II 安国寺集落遺跡の概要

安国寺遺跡は、昭和24年から27年にかけて初めて発掘調査が行われ、出土土器は、東九州の弥生時代後期末の標識土器「安国寺式土器」と命名された。

また、弥生時代の炭化米を出土した遺跡として同時期に発掘調査が行われた「登呂遺跡」に対して「西の登呂」と呼ばれるなどの脚光をあびました。

昭和53年からの大規模圃場整備事業に伴う昭和60年から63年にかけての発掘調査では、高床建物の部材や農耕具などの木製品が良好な状態で出土したことで学術的に高い評価をうけました。

以上のような経緯を経て、遺跡の重要性並びに地元住民の方々のご協力により、遺跡の永久保存が決定し、平成4年に安国寺集落遺跡が国史跡指定になりました。

III 館日誌

- | | |
|---|--|
| 4月17日 国東中学校歓迎遠足 | 5月14日 国見中学校1年生 見学・体験 古代土器づくり講座 |
| 4月22日 弥生のムラ インストラクター自主研修 | アカデミアの会 総会・講話 |
| 4月26日 古代とんぼ(ガラス)玉づくり並びに古代か ずら工芸無料体験 OBS「The news」撮影 | 5月15日 国東市文化財調査委員会 国東市歴史体験学習館協議会 |
| 4月27日 中国交流事業実行委員会開催 | 5月17日 日出町西深江子ども会 見学・体験 九州大学大学院考古学研究室 見学 |
| 4月28日 铸造体験ケーブルテレビ撮影 | 彼と彼女のハッピーライフ講座 見学・体験 |
| 5月 1日 朝日新聞社「ゴールデンウィーク遊びス ポット」取材 | 5月19日 古代トンボ玉講座 開講式 |
| 5月 2日 大分市喜楽会 見学 別府大学日本語教育研究センター 見学・体験 中国上海市嘉定区代表团 見学 | 5月21日 かずら工芸講座 弥生のムラ小中学校連絡協議会 |
| 5月 5日 弥生のムラ年中行事「端午の節句あそび」 | 5月24日 くにさき子どもフェスタ参加(安岐町) |
| 5月 9日 宇佐市川部子ども会 見学・体験 | 5月26日 弥生のムラ インストラクター研修 |
| 5月10日 福岡県宮若市郷土史会 見学 | 5月28日 古代編物講座 開講式 |
| | 5月30日 福岡県みやこ町歴史民俗博物館 見学 |
| | 6月 2日 古代とんぼ(ガラス)玉講座 |

| | | |
|-------|---|---|
| 6月 4日 | 武蔵西小学校6年生 見学・体験 | 宇佐市第3イロハ会 見学 |
| 6月 4日 | 古代かざら工芸講座 | 9月25日 歴史講座 杵築市文化財視察研修 |
| 6月 5日 | 「ゆめさき」体験スクール 芋植え | 9月30日 福岡県苅田中央公民館 見学 |
| 6月11日 | 国東小学校5年生 米づくり:田植え 古代土器づくり講座 | 10月 3日 杵築市東小学校 親子ふれあい活動 体験 津久見市カソリック幼稚園 体験 |
| 6月12日 | 佐伯市鶴岡小学校6年生 見学・体験 富来・豊崎幼稚園 米づくり:田植え・体験 | 10月 6日 竹田市ふるさと再発見ツアー 見学 古代とんぼ(ガラス)玉づくり講座 |
| 6月14日 | 弥生のムラ インストラクター自主研修 | 10月 8日 古代土器づくり講座 |
| 6月16日 | 古代とんぼ(ガラス)玉講座 | 10月 9日 ボランティアガイド研修 見学 |
| 6月19日 | 歴史講座 | 10月12日 全国オリエンテーリング協会役員 見学 |
| 6月20日 | 大福交流会 見学 | 10月16日 富来・豊崎幼稚園 米づくり:稲刈り・体験 竹田津保育所 遠足 |
| 6月25日 | 古代編物講座 | 10月18日 母親クラブ「プリン」 体験・見学 |
| 6月27日 | 杵築市大内小学校親子ふれあい活動 | 10月20日 国東小学校5年生 米づくり:稲刈り |
| 6月28日 | 別府大学文化財学科博物館実習 見学・体験 | 10月22日 古代かざら工芸講座 古代編物講座 |
| 7月 1日 | 生涯学習課体育指導員 体験 | 10月23日 歴史講座 |
| 7月 2日 | 別府市明星小学校 見学・体験 | 10月24日 国東小学校公園利用PTAふれあい活動 |
| 7月 7日 | 古代とんぼ(ガラス)玉講座 | 10月25日 国東町ふるさと祭り 火おこし大会参加 |
| 7月 9日 | 富来・豊崎幼稚園 米づくり:田草取り・体験 古代土器づくり講座 | 10月29日 武蔵西小学校 見学 竹田津小学校見学・体験 |
| 7月10日 | 小原小学校4年生・6年生 見学 | 11月 5日 OAB吉武東里資料取材 |
| 7月14日 | 旭日幼稚園 体験 | 11月 8日 企画展「くにさきの信仰と祭り展」開催 |
| 7月20日 | 講演会「ペトロ岐部カスイの生涯」 「グレゴリオ聖歌のつどい」 | 11月10日 古代とんぼ(ガラス)玉講座 |
| 7月22日 | 1泊2日古代への旅 安岐小学校6年生 体験・見学 | 11月12日 杵築市杵築小学校 体験・見学 古代土器づくり講座 |
| ~23日 | 〃 | 11月14日 杵築市豊洋小学校 親子ふれあい活動 体験・見学 |
| 7月24日 | 大分県立歴史博物館「国東郷調査報告会」 | 11月15日 別府大学学芸員課程 体験・見学 国見町ちよるちよる祭り体験参加 |
| 7月30日 | 古代編物講座 草木染め | 11月15日 武蔵町おいで祭り体験参加 |
| 8月 1日 | 豊後大野市軸丸子ども会 見学・体験 | 11月17日 旭日小学校4年生 昔の道具しらべ |
| 8月 6日 | 古代土器づくり講座 弥生のムラ インストラクター協議会総会 | 11月18日 佐伯市教育委員会 視察研修 |
| 8月 8日 | 別府大学 古代住居宿泊体験 | 11月19日 古代かざら工芸講座 |
| ~9日 | 〃 | 11月20日 歴史講座 |
| 8月19日 | フレンドリークラブ 館利用 | 11月22日 「くにさきの祭り」と信仰展」記念講演会 |
| 8月25日 | 国東小学校5年生 米づくり:田草取り | 11月25日 九重町宝八幡宮敬神社婦人会 体験 |
| 8月26日 | 大分市大海組子ども会 見学・体験 くにさき体験隊 館利用 | 11月26日 古代編物講座 |
| 8月27日 | 古代編物講座 古代かざら工芸講座 古代土器づくり講座 | 11月27日 安岐中央小学校4年生 昔の道具しらべ |
| 8月28日 | 古代とんぼ(ガラス)玉講座 大分市大海組子ども会 見学・体験 | 11月29日 中津市視聴覚障がい者協会 見学 別府大学 見学 |
| 8月30日 | 別府市手をつなぐ親の会 体験・見学 | 12月 1日 古代とんぼ(ガラス)玉講座 |
| 9月 4日 | 富来・豊崎幼稚園 米づくり:案山子づく り・体験 | 12月 4日 安岐小学校4年生 見学 |
| 9月10日 | 中津市今津老人クラブ 見学 | 12月10日 古代土器づくり講座 |
| 9月13日 | くにさき古代まつり2009 | 12月13日 講演会「峰入りと六郷満山」・ワラジづくり インストラクター協議会 注連縄づくり 研修 |
| 9月15日 | 宇佐市西部老人クラブ 見学 | 12月15日 インストラクター協議会視察研修 綾羅 木郷遺跡・土井ヶ浜遺跡 |
| 9月17日 | 古代かざら工芸講座 | |

- ～16日
- 1月11日 弥生のムラ年中行事「七日正月」
古代とんぼ(ガラス)玉講座
 - 1月15日 古代土器づくり講座
インストラクター協議会 さがり雛づくり
研修
 - 1月17日 企画展「市民の文化遺産(お宝)展」開催
 - 1月20日 インストラクター協議会 さがり雛づくり
研修
 - 1月21日 古代かずら工芸講座
 - 1月22日 歴史講座
 - 1月23日 古代土器づくり講座
 - 1月24日 インストラクター協議会 さがり雛づくり
研修
 - 1月28日 古代編物講座
 - 2月 2日 企画展「第1次安国寺集落遺跡出土品郷が
えり展」開催
 - 2月 3日 古代とんぼ(ガラス)玉講座
 - 2月 7日 「第1次安国寺集落遺跡出土品郷がえり展」
記念講演会
 - 2月 9日 熊毛小学校5・6年生 体験・見学
 - 2月11日 古代土器づくり講座
 - 2月18日 古代かずら工芸講座
 - 2月19日 歴史講座
 - 2月25日 古代編物講座
 - 2月27日 古代土器づくり講座
 - 3月 2日 大恩小学校全校児童 お別れ遠足・体験
 - 3月 2日 小原小学校全校児童 お別れ遠足
 - 3月 3日 国東小学校全校児童 お別れ遠足
 - 3月 3日 オレンジ保育所全園児 お別れ遠足
 - 3月 7日 弥生のムラ年中行事「雛節句」
 - 3月 9日 安岐保育所全園児 お別れ遠足
 - 3月12日 国東市歴史体験学習館協議会
 - 3月24日 国東市文化財調査委員会

IV 事業の内容

1 展示部門

館内展示は、国史跡安国寺集落遺跡からの出土品を主とし、国東の歴史と自然の紹介、考古資料と民具による道具の変遷、中国浙江省河姆渡遺跡出土品（複製品）の展示、映像による遺跡紹介及び体験メニュー紹介の映像ホールに分かれています。

屋外展示は、発掘調査により出土した遺構と建築部材を基に等身大の高床建物8棟（住居と倉庫を各4棟）と平地式建物1棟計9棟を史跡地内に復元し、出土種子などを主に植栽をおこない、弥生の原風景に近い整備をしており、また園内には、隣接地で出土した竪穴住居4棟を復元しています。

1) 常設展示

（国東の自然と歴史）

国東半島の地形をランドサット写真で紹介し、国東の歴史や文化財について歴史年表パネルや写真展示をしています。

（弥生びとの暮らし）

人と道具の変遷を出土品と民具を、狩猟・製鉄・焼き物・米づくり・編み物・機織りなどの作業別に分けて展示し、実際に唐箕や石臼や糸車に、触れたり動かしたりすることにより、古代びとの知恵や技を体験できるコーナーを設けています。

（安国寺集落遺跡の世界）

昭和20年代の発掘調査の様子や成果を写真パネルで紹介し、安国寺式土器や高床建物の部材の展示をはじめ、出土状況写真や復元模型・小児土器棺の出土状況の復元などを展示し、弥生時代終末の遺跡の特色がわかる展示をしています。

2) 特別展示

（河姆渡遺跡と安国寺集落遺跡の世界）

中国浙江省の河姆渡遺跡と安国寺集落遺跡は、年代的な隔たりはありますが、高床住居を復元整備した遺跡としての共通点を通して、姉妹関係を結びました。

河姆渡遺跡出土品の複製品と安国寺遺跡出土品を展示しています。

3) 映像ホール

大型スクリーンで遺跡や体験学習館を紹介し、遺跡への理解を深め、各種体験マニュアルを体験学習や総合学習の受け入れに活用しています。

- ① 再現！安国寺集落遺跡の高床住居（9分57秒）
- ② 体験！弥生びとの生活（2分30秒）
- ③ 弥生の土器を作ろう（2分57秒）
- ④ 雲南焼きで土器を焼こう（3分39秒）
- ⑤ 火をおこしてみよう（1分54秒）
- ⑥ 弥生びとの料理を作ってみよう（5分00秒）
- ⑦ 弥生の布を織ってみよう（4分25秒）
- ⑧ 弥生の装飾品勾玉を作ろう（2分05秒）

4) 企画展示

①「ペトロ岐部の歩み」展

期 間 平成21年6月20日(土)～7月20日(月)
場 所 体験学習室1階
内 容 国東市出身の偉人、司祭ペトロ岐部カスイの足跡を紹介し、併せて古代キリスト教のグレゴリオ聖歌や彼の生涯についての講演会を開催しました。グレゴリオ聖歌は、立木稠子氏とグレゴリオ聖歌隊の方々によりアカペラでおこない、県内外から聴衆者が約140名参加した。
閲覧者数 のべ約750名



「ペトロ岐部の歩み展」



「グレゴリオ聖歌の集い」

②「未来に受継ぐ国東の文化遺産」展

期 間 平成21年11月8日(日)～平成22年3月14日(日)
場 所 体験学習室1階
内 容 いにしへの宝を未来につなぐ仏の里くにさきは、県内でも指定文化財を最も多く有する地域です。これらの文化遺産を絶やすことなく未来に残し、国東市の文化遺産の伝承・活用に繋げていくことを目的に実施しました。



「くにさきの信仰と祭り」展

1)「くにさきの信仰と祭り」展

国東市の代表的な無形民俗文化財と伝承活動を展示紹介した。
保存継承の参考になる講演会を実施した。
閲覧者数 のべ約1,183名



「市民の文化遺産(お宝)」展

2)「市民の文化遺産(お宝)」展

国東市内の各個人所有のお宝を含む文化財遺産を一堂に集め、掛軸20本、工芸品10点、古文書40点など20人の方々のお宝を展示紹介した。
閲覧者数 のべ約351名



「第1次安国寺遺跡出土品郷がえり」展

3)「第1次安国寺遺跡出土品郷がえり」展

昭和20年代第1次安国寺遺跡出土品が、本年度九州大学から郷がえりし、この貴重な出土品の展示紹介をした。また、期間中に「安国寺集落遺跡の世界」と題して講演会を実施した。
閲覧者数 のべ約304名

③「国東六郷満山の原風景－峯入りの道を往く－」

期間 平成21年12月13日(日)～平成22年3月31日(水)
写真家小田原賢司氏の撮影写真50点
※平成21年12月13日「わらじ作り体験」を六郷満山会と共催

2 教育普及部門

1) 歴史講座

歴史・考古・民俗など、様々な分野から郷土〈くにさき〉の歴史を学習し、地域の伝統文化や社会について理解を深め、充実した潤いのある生活をすごせるよう、歴史学習を通じた生涯学習の一講座として本講座を実施した。また、国東地域に多数存在する住民共有の財産である文化財を愛し、後世に伝え保護する「文化財保護思想」の普及を図った。「未来に受け継ぐ国東の文化遺産展」記念講演会への参加案内も行い、のべ564名の講座生が出席した。



講座の様子

講座生51名

| 回 | 開 講 日 | 内 容 | 講 師 |
|----|-----------|---------------------------|------|
| 1 | 6月19日(木) | 開講式・「国東の歴史景観」 | 飯沼賢司 |
| 2 | 7月20日(月) | 「ペトロ岐部カスイの生涯」 | 大津祐司 |
| 3 | 9月25日(金) | 「杵築市文化財視察」 | 吉田和彦 |
| 4 | 10月23日(金) | 県立博物館企画展「賀来家・華麗なる一族展」見学 | 職 員 |
| 5 | 11月20日(金) | 宇佐・国東の古代寺院 | 小倉正五 |
| 6 | 11月22日(日) | 伝統芸能や祭りなど無形民俗文化財の継承と運営の課題 | 段上達雄 |
| 7 | 12月13日(日) | 六郷満山峰入り | 段上達雄 |
| 8 | 1月22日(金) | 世界遺産暫定一覧への追加提案書の現状と国東文化 | 金田信子 |
| 9 | 2月 7日(日) | 安国寺集落遺跡の世界 | 宮本一夫 |
| 10 | 2月19日(金) | 国東郷の水とくらし | 櫻井成昭 |

2) 弥生のムラ 1泊2日古代への旅

今年は、安岐小学校6年生と別府大学が、当施設の特徴を生かした古代食や火おこし、勾玉づくりなど古代体験と歴史学習を実施した。

1. 安岐小学校 48名、教諭4名

| 開講日 | 内 容 |
|----------|--|
| 7月22日(火) | 弥生ムラの儀式・記念写真・史跡公園見学 夕食づくり・読み聞かせ・古代住居見学・館内見学 |
| 7月23日(水) | 朝食づくり・勾玉づくり・出ムラの儀式 |

2. 別府大学 学生8名、教諭1名

| 開講日 | 内 容 |
|----------|--------------------------------------|
| 8月 8日(土) | 館内・史跡公園見学、竹の食器づくり、弥生土器づくり体験 夕食づくり |
| 8月 9日(日) | 朝食づくり |



「安岐小学校 古代の楽器演奏」



「別府大学 古代食体験」



「安岐小学校 読み聞かせ」

3) 古代土器づくり講座 講座生 28名

古代土器の製作技術や機能・用途などの謎を解きながら古代土器の再現に挑戦し、この講座生の方により、弥生のムラの館事業へ積極的に取り組んでいただいた。昨年に引き続き大型素焼き土器は、古代への旅で活用することができた。古代祭りでは、安国寺式土器キーホルダーづくり、雛節句では、古代風素焼き雛人形を100組作成し、体験指導に取り組んだ。河野則子氏が講師として、年間講座11回でのべ242人が参加した。



「古代土器づくり講座」

4) 古代かずら工芸講座 講座生 10名

古代より天然素材を生活の中で有効に活用してきた先人の知恵を学び、現在人に希薄な、物をつくる喜びや道具を大切にする心、自然の恵みへの感謝の心などを参加者に実体験してもらうとともに、かずら文化の継承に役立てることを目的として実施した。また、古代祭りでは、壁掛け蓑かごづくり体験指導に取り組んだ。戸田肇氏が講師として、年間講座11回でのべ100人が参加した。



「古代かずら工芸講座」

5) 古代編物講座 講座生 24名

安国寺集落遺跡から出土している地機織り道具などをもとに、1800年前の弥生のムラびとに想いをはせながら、弥生びとの知恵を学んだ。古代編物を通してお互いの生活を豊かなものにするると同時に、郷土の文化・文化財を再認識する一手段として取り組んでいる。本年度も昨年同様出席率が良く、各自の製作に創意工夫がみられ、積極的な取り組みがみられた。古代祭りでは、アンギン編みのプレスレットづくり体験指導に取り組んだ。館職員が講師となり、年間講座9回でのべ133人が参加した。



「古代編物講座」

6) 古代とんぼ(ガラス)玉講座 講座生16名

今年度から新設した講座で、弥生時代の遺跡からガラス玉やガラス勾玉が出土していることを参考にとんぼ玉づくりをとおして弥生時代の文化や知恵を学んだ。古代祭りや七日正月では、順番待ちの体験者が並ぶほど人気があり講座生が体験指導をおこなった。

郷司紀代氏が講師となり、年間講座14回でのべ156人が参加した。



「古代とんぼ(ガラス)玉講座」

7) 刊行物

平成21年度『国東市歴史体験学習館年報』2010.3

8) 広報活動

- ①弥生のムラ講座募集チラシ発行
- ②くにさき古代祭りチラシ発行
- ③テレビやケーブルテレビでの広報活動
- ④市内諸行事への参加

3 体験学習部門

1) 常設体験

弥生びとの知恵や技を勾玉づくりや土器づくり、火おこしなどの疑似体験を通して学び、自らが考えて行動する力を養うことを目的にしています。原則として小学校4年生以上を対象とし、3年生以下は保護者同伴を基本とします。

| | 体験種目 | 体験内容 | 時間 | 料金 |
|---|---------|------------------------|--------|-------|
| 1 | 古代勾玉づくり | 5.0 × 3.5 × 1.5 の滑石を使用 | 1時間30分 | 300円 |
| 2 | 古代火おこし | 古代の着火法「舞きり」使用 | 30分 | 100円 |
| 3 | 鑄造体験銅鏡 | 50g のピスマスを使用 | 30分 | 500円 |
| | 銅鐸 | 100g のピスマスを使用 | 30分 | 1000円 |

2) 予約体験

事前予約が必要な体験メニュー

| | 体験種目 | 体験内容 | 時間 | 料金 |
|---|-----------|---------------|-----|--------|
| 1 | 土器づくり | 1kg の野焼き粘土を使用 | 2時間 | 300円 |
| 2 | アングイン編み | 麻紐と木綿紐を使用 | 3時間 | 300円 |
| 3 | 火おこし道具づくり | 舞きり具一式 | 2時間 | 2,500円 |
| 4 | 古代食体験 | 素焼き土器で食事づくり | 3時間 | 200円 |

3) 企画体験

①小中学校総合学習

小学校

| 学校名 | 実施日 | 学習内容 | 学年 | 員数 |
|-------|---------------|-------------------|---------|------------|
| 国東小学校 | 6月11日 | 米づくり：田植え | 5年 | 52名 |
| 安岐小学校 | 7月22日 ～23日 | 1泊2日古代生活宿泊体験 〃 | 6年 〃 | 48名 48名 |
| 国東小学校 | 8月25日 | 米づくり：田草取り | 5年 | 52名 |
| 国東小学校 | 10月16日 | 米づくり：稲刈り | 5年 | 52名 |

幼稚園

| 学校名 | 実施日 | 学習内容 | 員数 | 備考 |
|-------|--------|-----------------|-----|------|
| 豊崎幼稚園 | 6月12日 | 米づくり：田植え、土器づくり | 3名 | 職員1名 |
| 富来幼稚園 | 〃 | 〃 (保護者9名) | 5名 | 職員2名 |
| 豊崎幼稚園 | 7月9日 | 米づくり：田草取り、土器づくり | 3名 | 職員1名 |
| 富来幼稚園 | 〃 | 〃 (保護者9名) | 5名 | 職員2名 |
| 旭日幼稚園 | 7月14日 | 土器づくり・公園利用 | 18名 | 職員2名 |
| 豊崎幼稚園 | 9月4日 | 米づくり：案山子づくり | 3名 | 職員1名 |
| 富来幼稚園 | 〃 | 〃 | 5名 | 職員2名 |
| 豊崎幼稚園 | 10月16日 | 米づくり：稲刈り・脱穀 | 4名 | 職員1名 |
| 富来幼稚園 | 〃 | 〃 | 5名 | 職員2名 |

②教科学習

| 学 校 名 | 実施日 | 学 習 内 容 | 学 年 | 員数(職員を含む) |
|----------|--------|---------|------|-----------|
| 国見中学校 | 5月14日 | 見学・アンギン | 1年 | 38名 |
| 武蔵西小学校 | 6月4日 | 勾玉・見学 | 6年 | 11名 |
| 佐伯市鶴岡小学校 | 6月12日 | 勾玉・火おこし | 6年 | 119名 |
| 別府市明星小学校 | 7月2日 | 勾玉 | 3・4年 | 97名 |
| 小原小学校 | 7月10日 | 館内見学 | 4・6年 | 17名 |
| 武蔵西小学校 | 10月29日 | 昔の道具しらべ | 5年 | 8名 |
| 竹田津小学校 | 10月29日 | 勾玉・火おこし | 6年 | 8名 |
| 杵築市杵築小学校 | 11月12日 | 勾玉・火おこし | 4年 | 86名 |
| 旭日小学校 | 11月17日 | 昔の道具しらべ | 4年 | 9名 |
| 安岐中央小学校 | 11月27日 | 勾玉 | 4年 | 51名 |
| 安岐小学校 | 12月4日 | 昼食・見学 | 4年 | 45名 |
| 熊毛小学校 | 2月9日 | 鑄造・見学 | 5・6年 | 12名 |
| 大恩小学校 | 3月2日 | 勾玉 | 全校 | 29名 |

③その他

| 学 校 名 | 実施日 | 学 習 内 容 | 学 年 | 員 数 |
|------------------|--------|---------|-----|------|
| 別府大学日本語教育研究センター | 5月2日 | 勾玉 | 大学生 | 180名 |
| 宇佐市川部子ども会 | 5月9日 | 勾玉・火おこし | 親 子 | 27名 |
| 日出町西深江子ども会 | 5月17日 | 勾玉・火おこし | 親 子 | 37名 |
| 彼と彼女のハッピーライフ講座 | 5月17日 | 勾玉 | 大 人 | 24名 |
| 杵築市大内小学校親子ふれあい活動 | 6月27日 | 勾玉・火おこし | 親 子 | 48名 |
| 別府大学文化財学科 | 6月28日 | 勾玉・火おこし | 大学生 | 34名 |
| 生涯学習課体育指導員 | 7月1日 | 勾玉 | 一 般 | 66名 |
| 豊後大野市軸丸子ども会 | 8月1日 | 勾玉・火おこし | 親 子 | 30名 |
| 大分市大海組子ども会 | 8月26日 | 勾玉・火おこし | 親 子 | 28名 |
| 杵築市東小学校親子ふれあい活動 | 10月3日 | 勾玉・火おこし | 親 子 | 52名 |
| 津久見市カトリック幼稚園 | 10月3日 | 火おこし | 園 児 | 31名 |
| 玖珠町母親クラブ「プリン」 | 10月18日 | 勾玉・火おこし | 親 子 | 23名 |
| 杵築市豊洋小学校親子ふれあい活動 | 11月14日 | 勾玉・火おこし | 親 子 | 27名 |
| 別府大学 | 11月15日 | 勾玉・火おこし | 大学生 | 36名 |
| 九重町宝八幡神社 | 11月25日 | 勾玉 | 大 人 | 19名 |
| 中津市視聴覚障がい者協会見学 | 11月29日 | 見学 | 大 人 | 30名 |

④公園利用

| 学 校 名 | 実施日 | 学 習 内 容 | 学 年 | 員 数 |
|------------|--------|-----------|------|------|
| 国東中学校 | 4月17日 | 歓迎遠足 | 全 校 | 385名 |
| ゆめさき体験スクール | 6月5日 | 芋植え | 職 員 | 5名 |
| フレンドリークラブ | 8月19日 | 館利用 | 小学生 | 10名 |
| ゆめさき体験スクール | 8月26日 | スイカ収穫 | 小学生 | 17名 |
| 竹田津保育所 | 10月16日 | 遠足 | 全 園 | 36名 |
| 国東小学校PTA | 10月24日 | 公園利用・親子レク | 親 子 | 48名 |
| 旭日小学校 | 11月9日 | 鍛錬遠足 | 5・6年 | 28名 |
| ゆめさき体験スクール | 11月11日 | 芋ほり | 小学生 | 9名 |

| | | | | |
|---------|--------|-------|----|------|
| 来浦小学校 | 11月13日 | 秋の遠足 | 全校 | 26名 |
| 大恩小学校 | 3月2日 | お別れ遠足 | 全校 | 29名 |
| 小原小学校 | 3月2日 | お別れ遠足 | 全校 | 68名 |
| 国東小学校 | 3月3日 | お別れ遠足 | 全校 | 290名 |
| オレンジ保育園 | 3月3日 | お別れ遠足 | 全校 | 45名 |
| 安岐保育所 | 3月9日 | お別れ遠足 | 全園 | 51名 |

4) 弥生のムラ年中行事 五節句

①「端午の節句あそび」5月5日(火)参加者 のべ500名

午後1時～午後2時30分「弥生のムラから初誕生」

初誕生の参加案内を198名に送付し、40名の参加があった。餅ふみ・餅かるい・物選び・泣き相撲を土舞台で実施しました。

午前10時～午後4時

古代体験は、今年度から鑄造体験を導入し、勾玉・火おこし・弓矢・とんぼ(ガラス)玉無料体験を実施し、405名が参加しました。弥生のムラインストラクター14名の協力がありました。



「泣き相撲」

②「七夕」 6月～7月上旬に七夕飾りと紙漉き短冊書き体験

③「七日正月」1月11日(月)参加者 のべ80名

午後1時～午後4時

凧をはじめ正月遊びの羽子板や独楽の展示、羽子板づくり50名、とんぼ玉づくり80名が参加しました。その他、バイ独楽づくりや凧揚げなど正月遊びをおこないました。参加者には、無病息災を願って七草がゆを80名に振る舞いました。



「お正月遊び道具の飾り」

④「雛節句」3月7日(日)参加者 のべ150名

弥生のムラ インストラクターが下げ物ひな100組を用意、古代土器づくり教室生が素焼き土器の雛人形を約80組作成し、それぞれ指導し参加者に大変好評だった。棧俵(稲ワラで作った舟)で流し雛を公園内の川で行い、厄払いと今年の無病息災を願いました。また、今年は、雛あられや甘酒を150食分振舞いました。館内には、市内の方の雛人形約10組を展示し、古代土器づくり講座生や弥生のムラインストラクターも飾り付けをしてくれました。



「流し雛」

展示期間 平成22年2月23日(火)から3月31日(水)

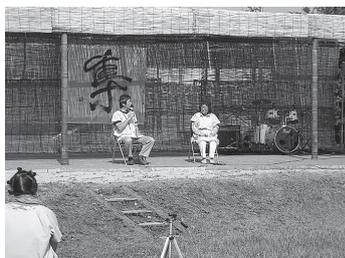
4. 弥生のムラ祭り

史跡公園として整備した弥生のムラ安国寺集落遺跡の公開と活用を促進し、古代の原風景を彷彿とさせる史跡の特性を活かすとともに、この施設が地域に根ざした町づくりの拠点になることを目的として開催しました。

1) 弥生のムラ くにさき古代祭り2009

今年も昨年に引続き古代楽器演奏を、株式会社ミュージックエイトの協力で実施できました。秋晴れの中、弥生のムラ インストラクターをはじめ古代土器づくり講座生・古代編物講座生・古代かずら工芸講座生の方々が主となり子どもたちに古代体験指導ボランティア活動や古代人カラオケ大会・国東太鼓・大恩子ども神楽など国東の民俗芸能などの舞台発表をおこないました。また、古代体験を行いました。

参加者 のべ3,000名



「シンポジウム」

日 時 平成21年9月13日(日) 午前9時～午後6時

内 容

《ステージ部門》 午前10時～18時 土舞台

- ①開会行事
- ②シンポジウム「古代からのメッセージ」
- ③「古代人カラオケ大会」

- ④「国東太鼓」「大恩子ども神楽」「ミュージックライブ」

《飲食部門》 午前10時～午後4時

カレー、タイ料理、インドネシア料理、弥生のムラお茶席など

《体験部門》 午前10時～午

後4時 のべ967名

- ①古代土器アクセサリ 100円

のべ202名

- ②古代編物 100円

のべ90名

- ③とんぼ(ガラス)玉づくり 100円

のべ81名

- ④勾玉づくり 100円

のべ215名

- ⑤火おこし 無料

のべ310名

- ⑥鑄造体験 100円

のべ59名

《展示部門》

- ①野の花展 ②古代とんぼ(ガラス)玉講座生作品展
- ③古代かずら工芸講座生作品展 ④古代編物講座生作品展
- ⑤古代土器づくり講座生作品展



「古代人カラオケ大会」

5. 協議会・委員会

1) 国東市歴史体験学習館協議会

体験学習館事業の諮問機関であり、学識経験者をはじめ、文化財調査員、小・中学校教諭、弥生のムラ インストラクター等の代表者10名で構成されています。昨年に引き続き、イベント等にご出席、協議会を2回開催しました。

国東市歴史体験学習館協議会委員 H 21.4.1 ~ H 22.3.31

| 職名 | 氏名 | 構成 | 住所 |
|------|-------|-----------------|-----|
| 委員長 | 郷司 信義 | 学識者 | 国東町 |
| 副委員長 | 河野 則子 | 学識者 | 国東町 |
| 副委員長 | 溝部 宗徳 | 学識者 | 国東町 |
| 委員 | 後藤 博正 | 文化財愛護少年団代表 | 国東町 |
| 委員 | 近藤 節子 | 学識者 | 安岐町 |
| 委員 | 鴛海 昌典 | 文化財調査員代表 | 国見町 |
| 委員 | 相部サダ子 | 学識者 | 武蔵町 |
| 委員 | 西田 文代 | 弥生のムラインストラクター代表 | 国東町 |
| 委員 | 芹川 邦彦 | 中学校教諭代表 | 武蔵町 |
| 委員 | 河野 里美 | 小学校教諭代表 | 武蔵町 |

| 回 | 開催日 | 内容 |
|---|-------|------------------------|
| 1 | 5月15日 | 平成21年度事業計画 |
| 2 | 3月12日 | 平成21年度事業報告・平成22年度事業(案) |

2) 弥生のムラ小中学校連絡協議会

小・中学校の総合学習の導入により、市内小・中学校教育と連携を図り、体験教育施設活用を目的に体験学習館と学校が相互に協力し、円滑な学社連携を図りました。(18校)

| | 学校名 | 氏名 | | 学校名 | 氏名 |
|-----|------|--------|----|-------|-------|
| 会長 | 竹田津小 | 石田 吉幸 | 委員 | 大恩小 | 滝口 敦子 |
| 副会長 | 安岐中 | 芝原 仁人 | 委員 | 豊崎小 | 石田 房栄 |
| 委員 | 国見中 | 関司 和子 | 委員 | 国東小 | 手嶋 裕子 |
| 委員 | 国東中 | 小出 正博 | 委員 | 小原小 | 河野 里美 |
| 委員 | 武蔵中 | 佐々野智範 | 委員 | 旭日小 | 丹田 康彦 |
| 委員 | 伊美小 | 野田 和子 | 委員 | 武蔵東小 | 能武布美子 |
| 委員 | 熊毛小 | 堤 峰子 | 委員 | 武蔵西小 | 有次 久恵 |
| 委員 | 来浦小 | 田代久寿美 | 委員 | 安岐中央小 | 畑野 章 |
| 委員 | 富来小 | 宇都宮ちか江 | 委員 | 安岐小 | 吉松真里子 |

| 回 | 開催日 | 内容 |
|---|-------|--------------------|
| 1 | 5月21日 | 館利用について、平成21年度事業計画 |

3) 中国交流事業実行委員会

今年度は、浙江省博物館職員が5月25日～29日に来日予定でしたが新型インフルエンザの影響のため、来日を延期しました。

4) 弥生のムラインストラクター協議会

この協議会は、当館のボランティアスタッフであり、弥生のムラインストラクター養成講座やこれまでの生活で培った知識や機能、また経験などを入館者に還元していただき、自らも充実した潤い

のある豊かな生活を送る場として活動しています。

本年度は、弥生の年中行事や弥生のムラくにさき古代祭りなどをはじめ団体の体験指導、館活動へ積極的且つ主体的に取り組みました。また、先進地施設等の視察研修により見識が深められ、活動意欲の向上が図られました。



「雛節句での活動」

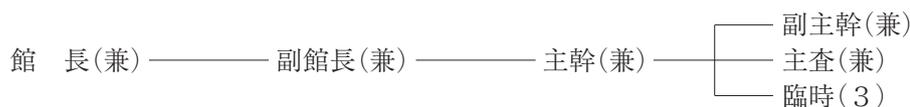
① 弥生のムラインストラクター協議会員 30名

| No. | 氏名 | 備考 | No. | 氏名 | 備考 |
|-----|--------|-----|-----|--------|----|
| 1 | 西田 文代 | 会長 | 16 | 平永 光 | |
| 2 | 仲村 文博 | 副会長 | 17 | 吉武 法子 | |
| 3 | 都甲 滋之 | 副会長 | 18 | 海原 明子 | |
| 4 | 吉武 久志 | 監事 | 19 | 河野 則子 | |
| 5 | 金丸 淑子 | 監事 | 20 | 今井 洋治 | |
| 6 | 郷司 紀代 | | 21 | 今井 スエ子 | |
| 7 | 郷司 信義 | | 22 | 小野 文昭 | |
| 8 | 宮脇 智恵子 | | 23 | 金丸 勝 | |
| 9 | 橋本 幸子 | | 24 | 清田 カツ子 | |
| 10 | 吉田 妙 | | 25 | 清成 輝久 | |
| 11 | 今留 康雄 | | 26 | 小田 律子 | |
| 12 | 山本 正士 | | 27 | 後藤 基次郎 | |
| 13 | 国広 大倫 | | 28 | 財前 妙子 | |
| 14 | 松原 久子 | | 29 | 末房 祐一郎 | |
| 15 | 重吉 登美 | | 30 | 末房 静子 | |

② 活動内容

| 回 | 活動日 | 内容 |
|----|-----------|-------------------------|
| 1 | 4月27日 | 平成21年度総会 |
| 2 | 5月2日 | 別府大学日本語教育研究センター体験指導 |
| 3 | 5月5日 | 「端午の節句」「弥生のムラから初誕生」スタッフ |
| 4 | 5月14日 | 国東市立国見中学校体験指導 |
| 5 | 7月22日 | 1泊2日「古代への旅」スタッフ |
| 6 | 9月13日 | 弥生のムラ くにさき古代祭り2009 |
| 7 | 11月15日 | 武蔵町おいで祭り参加 体験指導 |
| 8 | 11月15日 | 国見町ちよるちよる祭り参加 体験指導 |
| 9 | 12月15～16日 | 視察研修（山口県） |
| 10 | 1月11日 | 「七日正月」スタッフ |
| 11 | 3月7日 | 「雛節句」スタッフ |

V 館機構



| 役職名 | 氏名 | 備考 |
|---|-------|----|
| 文化財課長 兼歴史体験学習館長 兼三浦梅園資料館長 | 猪俣 利治 | |
| 文化財課長補佐 兼歴史体験学習館副館長班長 兼三浦梅園資料館副館長 | 穴見 和彦 | |
| 文化財課主幹 兼歴史体験学習館主幹 兼三浦梅園資料館主幹 | 永松みゆき | |
| 文化財課副主幹 兼歴史体験学習館副主幹 兼三浦梅園資料館副主幹 | 松本 啓子 | |
| 文化財課主査 兼歴史体験学習館主査 兼三浦梅園資料館主査 | 藤本 啓二 | |
| 歴史体験学習館臨時 | 鹿島 英雄 | |
| 歴史体験学習館臨時 | 松本 悦子 | |
| 歴史体験学習館臨時 | 後藤 彰一 | |

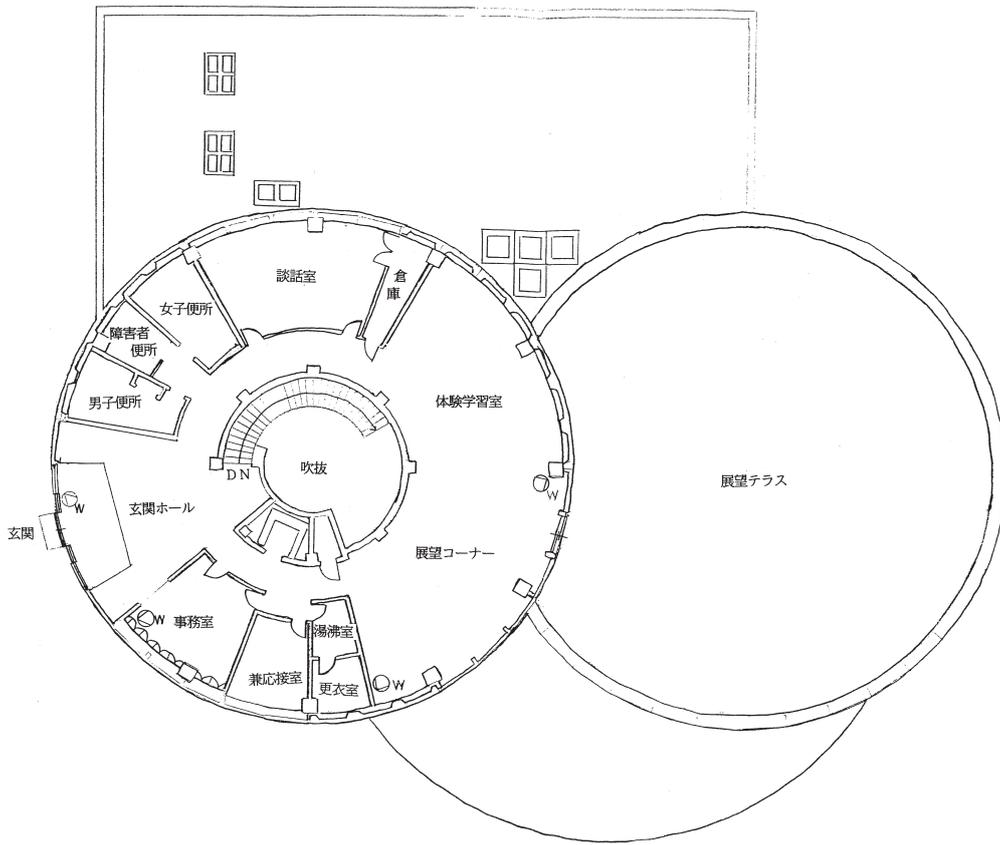
VI 施設の概要

敷地面積

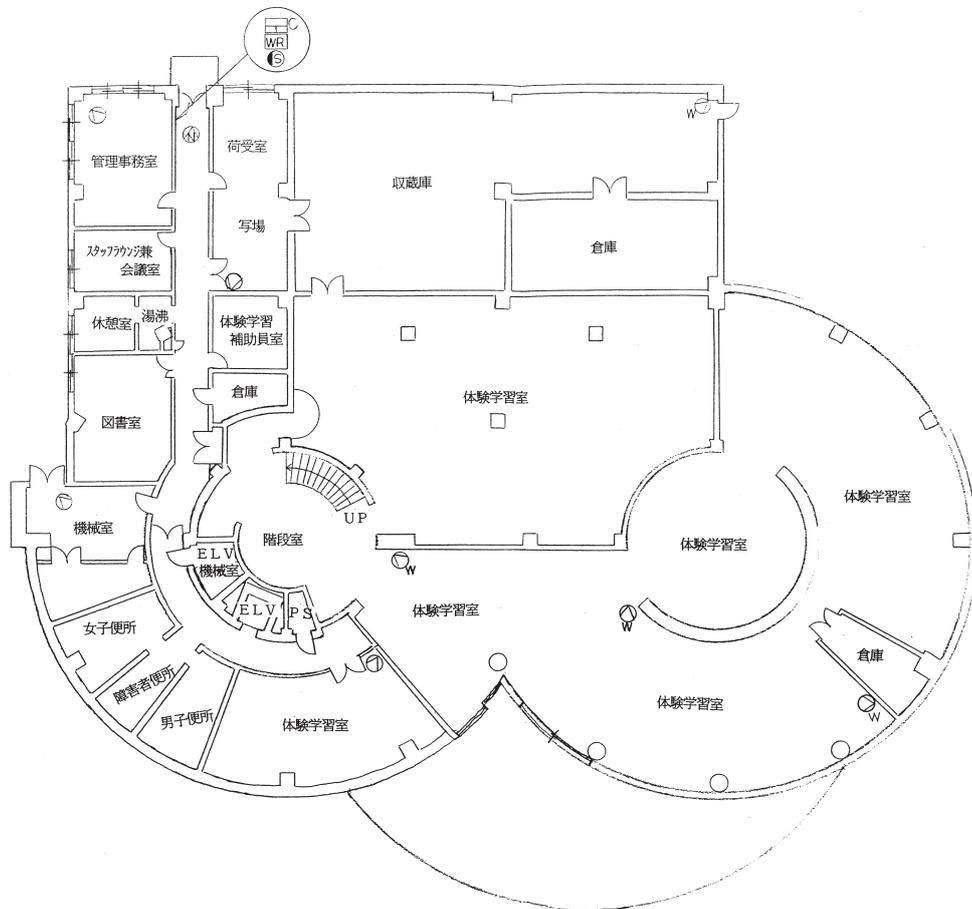
| | | |
|-----|----------|-----------|
| 指定地 | 約20,600㎡ | |
| 隣接地 | 約22,500㎡ | 計 43,100㎡ |

| | | |
|--------------------------|------------------|--------|
| 体験学習館 | 1棟 (鉄筋コンクリート二階建) | 2,099㎡ |
| 発掘体験舎 | 1棟 (鉄骨造鋼鉄葺き平屋建て) | 346㎡ |
| 高床建物 | | |
| ・住居 | 4棟 (木造茅葺平屋建て) | 45.33㎡ |
| ・倉庫 | 4棟 (木造茅葺平屋建て) | 20.86㎡ |
| ・集会施設 | 1棟 (木造茅葺平屋建て) | 8.46㎡ |
| 竪穴住居 | | |
| ・丸形 | 2棟 (木造茅葺平屋建て) | 74.6㎡ |
| ・方形 | 2棟 (木造茅葺平屋建て) | 51.8㎡ |
| 水田 | 3枚 (90㎡×3枚=) | 270㎡ |
| 生産広場 | 1ヶ所 | 380㎡ |
| 土舞台 | 1ヶ所 (土舗装) | 300㎡ |
| 弥生の原っぱ | 1ヶ所 (張り芝) | 3,500㎡ |
| 弥生の広場 | 1ヶ所 (張り芝) | 3,550㎡ |
| 弥生のせせらぎ | 1ヶ所 | 48m |
| 大溝 | | 3,375㎡ |
| 弥生の森 (遺跡出土種子を主とした樹木等の植栽) | | |

| | | |
|------|----------------------------------|---|
| 入館料等 | 公園 | 無料 |
| | 歴史体験学習館 | 大人200円、子ども(小・中学生)100円 (20名以上団体大人150円、子ども50円) |
| 開館時間 | 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) | |
| 休館日 | 月曜日及び祝日の翌日(土・日曜日を除く)、12月29日～1月4日 | |

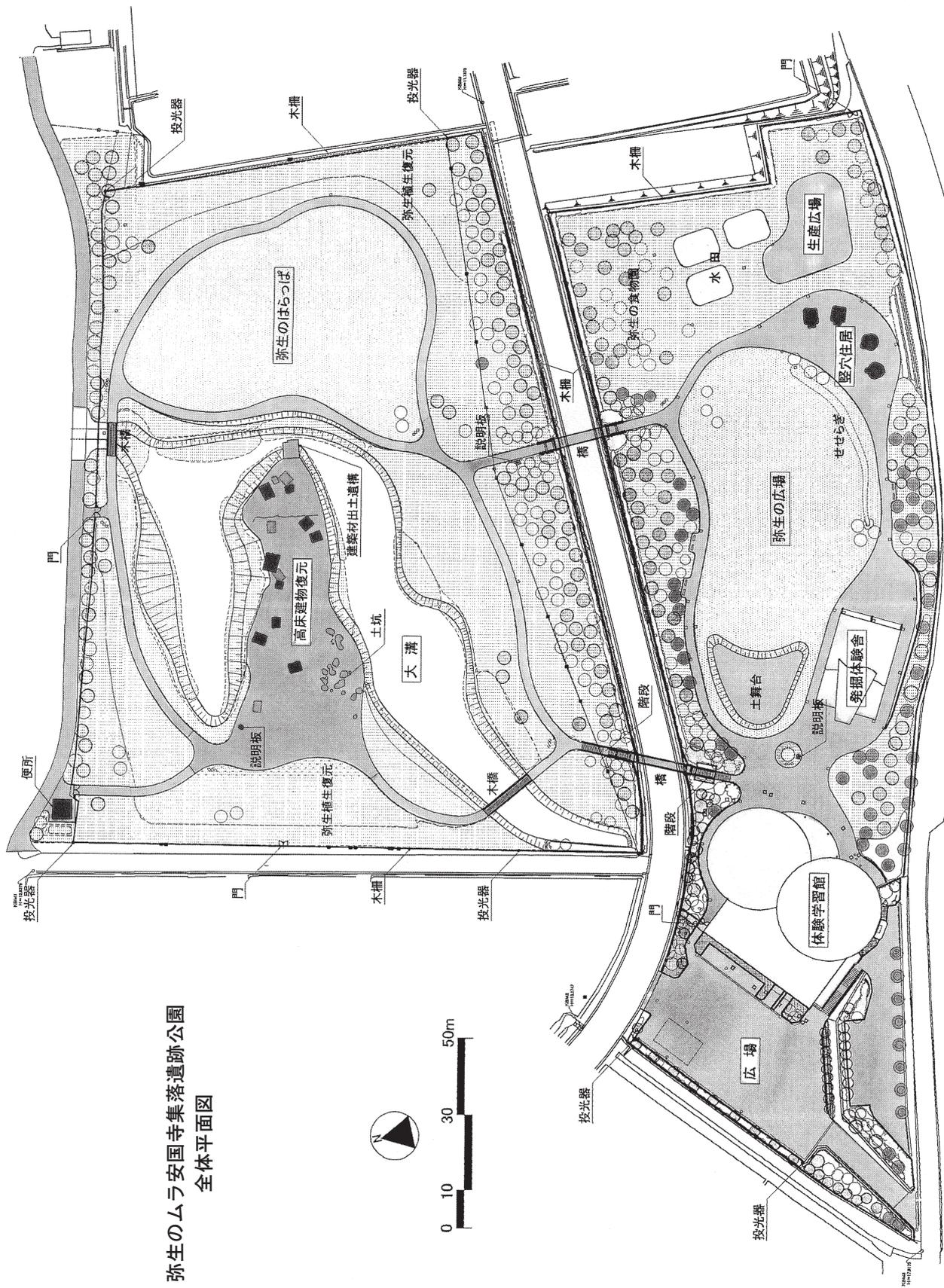


2 F



1 F

弥生のムラ安国寺集落遺跡公園
全体平面図



VII 平成 21 年度入館者・体験者数

国東市歴史体験学習館入館者数一覧

| 月 | 有 料 | | | | | | | 無 料 | | | | | | |
|----|-------|-----|-------|-----|-----|-------|-----------|-----|-----|-----|-------|-------|-------|--|
| | 個 人 | | | 団 体 | | | 小計 (人) | 免 除 | | | 館利用者 | | | |
| | 大人 | 小人 | 計 | 大人 | 小人 | 計 | | 大人 | 小人 | 免除計 | 大人 | 小人 | 計 | |
| 4 | 88 | 14 | 102 | 0 | 0 | 0 | 102 | 0 | 0 | 0 | 146 | 361 | 507 | |
| 5 | 252 | 53 | 305 | 231 | 15 | 246 | 551 | 53 | 35 | 88 | 455 | 315 | 770 | |
| 6 | 88 | 6 | 94 | 76 | 113 | 189 | 283 | 11 | 2 | 13 | 271 | 81 | 352 | |
| 7 | 128 | 34 | 162 | 7 | 97 | 104 | 266 | 10 | 118 | 128 | 223 | 133 | 356 | |
| 8 | 260 | 98 | 358 | 9 | 19 | 28 | 386 | 0 | 0 | 0 | 104 | 78 | 182 | |
| 9 | 193 | 16 | 209 | 118 | 0 | 118 | 327 | 0 | 0 | 0 | 1643 | 1508 | 3151 | |
| 10 | 143 | 4 | 147 | 143 | 10 | 153 | 300 | 3 | 17 | 20 | 211 | 129 | 340 | |
| 11 | 144 | 19 | 163 | 135 | 102 | 237 | 400 | 10 | 77 | 87 | 225 | 27 | 252 | |
| 12 | 47 | 0 | 47 | 0 | 0 | 0 | 47 | 4 | 39 | 43 | 290 | 43 | 333 | |
| 1 | 106 | 12 | 118 | 0 | 0 | 0 | 118 | 9 | 0 | 9 | 434 | 50 | 484 | |
| 2 | 136 | 8 | 144 | 20 | 0 | 20 | 164 | 10 | 2 | 12 | 277 | 10 | 287 | |
| 3 | 144 | 21 | 165 | 50 | 0 | 50 | 215 | 17 | 83 | 100 | 332 | 486 | 818 | |
| 合計 | 1,729 | 285 | 2,014 | 789 | 356 | 1,145 | 3,159 | 127 | 373 | 500 | 4,611 | 3,221 | 7,832 | |

国東市歴史体験学習館体験者数一覧

| | 鑄造 | | 勾玉 | | | 土器 | 火道具 | 火おこし | 編布 | 古代食 | かずら | とんぼ玉 | 合 計 |
|-----|------|-----|-------|-----|-----|-----|------|------|-----|-----|-----|------|-------|
| | 1000 | 500 | 300 | 200 | 100 | 300 | 2500 | 100 | 300 | 200 | | | |
| 4月 | 0 | 0 | 54 | 11 | 0 | 0 | 0 | 14 | 0 | 0 | 0 | 0 | 79 |
| 5月 | 3 | 17 | 426 | 0 | 25 | 0 | 0 | 35 | 45 | 0 | 0 | 0 | 551 |
| 6月 | 2 | 0 | 216 | 11 | 0 | 8 | 0 | 181 | 20 | 0 | 0 | 0 | 438 |
| 7月 | 4 | 3 | 282 | 27 | 1 | 12 | 2 | 20 | 0 | 0 | 0 | 0 | 351 |
| 8月 | 4 | 10 | 222 | 3 | 0 | 25 | 1 | 24 | 4 | 9 | 0 | 0 | 302 |
| 9月 | 1 | 60 | 71 | 13 | 215 | 202 | 0 | 324 | 81 | 0 | 10 | 81 | 1058 |
| 10月 | 2 | 1 | 95 | 0 | 0 | 0 | 0 | 67 | 0 | 0 | 0 | 0 | 165 |
| 11月 | 5 | 2 | 383 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 391 |
| 12月 | 0 | 0 | 35 | 5 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 46 |
| 1月 | 1 | 0 | 31 | 0 | 0 | 2 | 1 | 6 | 80 | 0 | 0 | 0 | 121 |
| 2月 | 0 | 16 | 19 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 37 |
| 3月 | 0 | 0 | 78 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 | 31 | 0 | 0 | 0 | 120 |
| 合計 | 22 | 109 | 1,912 | 72 | 241 | 249 | 4 | 689 | 261 | 9 | 10 | 810 | 3,659 |

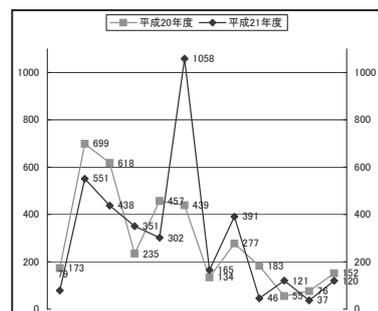
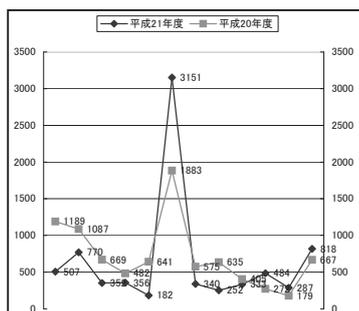
平成 20 年度・21 年度 利用者比較表

入館者比較

| 平成 20 年度 | | 平成 21 年度 | |
|----------|------|----------|------|
| 入館者数 | | 入館者数 | |
| 4月 | 1189 | 4月 | 507 |
| 5月 | 1087 | 5月 | 770 |
| 6月 | 669 | 6月 | 352 |
| 7月 | 482 | 7月 | 356 |
| 8月 | 641 | 8月 | 182 |
| 9月 | 1883 | 9月 | 3151 |
| 10月 | 575 | 10月 | 340 |
| 11月 | 635 | 11月 | 252 |
| 12月 | 405 | 12月 | 333 |
| 1月 | 272 | 1月 | 484 |
| 2月 | 179 | 2月 | 287 |
| 3月 | 667 | 3月 | 818 |
| 合計 | 8684 | 合計 | 7832 |

体験者比較

| 平成 20 年度 | | 平成 21 年度 | |
|----------|------|----------|------|
| 体験者数 | | 体験者数 | |
| 4月 | 173 | 4月 | 79 |
| 5月 | 699 | 5月 | 551 |
| 6月 | 618 | 6月 | 438 |
| 7月 | 235 | 7月 | 351 |
| 8月 | 457 | 8月 | 302 |
| 9月 | 439 | 9月 | 1058 |
| 10月 | 134 | 10月 | 165 |
| 11月 | 277 | 11月 | 391 |
| 12月 | 183 | 12月 | 46 |
| 1月 | 55 | 1月 | 121 |
| 2月 | 76 | 2月 | 37 |
| 3月 | 152 | 3月 | 120 |
| 合計 | 3498 | 合計 | 3659 |



VIII 収蔵資料

1) 平成 21 年度寄贈図書送付団体

| | | | |
|------------------|-----|----------------------|------|
| 杵築市教育委員会 | 大分県 | 宮崎市教育委員会 | 宮崎県 |
| 竹田市教育委員会 | 大分県 | 日南市教育委員会 | 宮崎県 |
| 中津市教育委員会 | 大分県 | 鹿児島国際大学 | 鹿児島県 |
| 別府市教育委員会 | 大分県 | 南さつま市埋蔵文化財センター | 鹿児島県 |
| 大分市歴史資料館 | 大分県 | 出水市教育委員会 | 鹿児島県 |
| 大分市教育委員会 | 大分県 | 鹿児島県立埋蔵文化財センター | 鹿児島県 |
| 日田市教育委員会 | 大分県 | 南九州市教育委員会 | 鹿児島県 |
| 大分県立先哲史料館 | 大分県 | 読谷村立歴史民俗資料館 | 沖縄県 |
| 大分県立歴史博物館 | 大分県 | 山口大学埋蔵文化財資料館 | 山口県 |
| 「宇佐文学」の会 | 大分県 | 山口県埋蔵文化財センター | 山口県 |
| 糸島市教育委員会 | 福岡県 | 下関市立考古博物館 | 山口県 |
| 粕屋町教育委員会 | 福岡県 | 萩市 | 山口県 |
| 上毛町教育委員会 | 福岡県 | 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム | 山口県 |
| 豊前市教育委員会 | 福岡県 | 防府市教育委員会 | 山口県 |
| 嘉麻市教育委員会 | 福岡県 | 広島大学大学院 | 広島県 |
| 築上町教育委員会 | 福岡県 | 総社市教育委員会 | 岡山県 |
| 岡垣町教育委員会 | 福岡県 | (財) 米子市教育文化事業団 | 鳥取県 |
| 志摩町教育委員会 | 福岡県 | 鳥取市教育委員会 | 鳥取県 |
| 春日市教育委員会 | 福岡県 | 西予市教育委員会 | 愛媛県 |
| 宮若市教育委員会 | 福岡県 | 鬼北町教育委員会 | 愛媛県 |
| 飯塚市教育委員会 | 福岡県 | 愛媛大学 | 愛媛県 |
| 北九州市立自然史・歴史博物館 | 福岡県 | (財) 松山市生涯学習振興財団 | 愛媛県 |
| 小郡市教育委員会 | 福岡県 | 高松市教育委員会 | 香川県 |
| 福岡市美術館 | 福岡県 | 尾崎市教育委員会 | 兵庫県 |
| うきは市教育委員会 | 福岡県 | 泉南市埋蔵文化財センター | 大阪府 |
| 福岡市埋蔵文化財センター | 福岡県 | 関西大学博物館 | 大阪府 |
| (財) 北九州市芸術文化振興財団 | 福岡県 | (株) 鳥田組 | 大阪府 |
| 久留米市教育委員会 | 福岡県 | (財) 京都府埋蔵文化財調査研究センター | 京都府 |
| 太宰府市教育委員会 | 福岡県 | 奈良大学 | 奈良県 |
| 福岡県教育委員会 | 福岡県 | (財) 元興寺文化財研究所 | 奈良県 |
| 北九州市教育委員会 | 福岡県 | 王寺町教育委員会 | 奈良県 |
| 筑紫野市教育委員会 | 福岡県 | (財) 栗東市文化体育振興事業団 | 滋賀県 |
| 宗像市教育委員会 | 福岡県 | 草津市教育委員会 | 滋賀県 |
| 九州産業大学美術館 | 福岡県 | 和歌山県立紀伊風土記の丘 | 和歌山県 |
| 福岡大学 | 福岡県 | 若狭三方縄文博物館 | 福井県 |
| 朝倉市教育委員会 | 福岡県 | 小松市教育委員会 | 石川県 |
| 大野城市教育委員会 | 福岡県 | 富山市教育委員会 | 富山県 |
| 佐賀県教育委員会 | 佐賀県 | 上越市教育委員会 | 新潟県 |
| 神埼市教育委員会 | 佐賀県 | 長野市立博物館 | 長野県 |
| 九州龍谷短期大学学会 | 佐賀県 | 平塚市博物館 | 神奈川県 |
| 大村市教育委員会 | 長崎県 | 神奈川大学日本常民文化研究所 | 神奈川県 |
| 平戸市教育委員会 | 長崎県 | (国立施設) 昭和館 | 東京都 |
| 諫早市教育委員会 | 長崎県 | 明治大学博物館 | 東京都 |
| 熊本市教育委員会 | 熊本県 | 中央大学 | 東京都 |
| 熊本大学 | 熊本県 | (株) 岩崎書店 | 東京都 |
| 山鹿市教育委員会 | 熊本県 | (株) 文化環境研究所 | 東京都 |
| 八代市教育委員会 | 熊本県 | 日本民具学会 | 東京都 |
| 菊池市教育委員会 | 熊本県 | 東京都江戸東京博物館 | 東京都 |
| 玉名市教育委員会 | 熊本県 | 首都大学東京 | 東京都 |
| 植木町教育委員会 | 熊本県 | (株) メイツ出版 | 東京都 |
| 宮崎県埋蔵文化財センター | 宮崎県 | 港区教育委員会 | 東京都 |
| 都城市教育委員会 | 宮崎県 | 千葉市立郷土博物館 | 千葉県 |
| きよたけ歴史館 | 宮崎県 | 国立歴史民俗博物館 | 千葉県 |
| 西都市教育委員会 | 宮崎県 | 群馬県立歴史博物館 | 群馬県 |
| 延岡市教育委員会 | 宮崎県 | 山形市教育委員会 | 山形県 |
| 新富町教育委員会 | 宮崎県 | (財) 北海道埋蔵文化財センター | 北海道 |

IX 国東市歴史体験学習館条例・規則

国東市歴史体験学習館条例

(平成18年3月31日)
条例117号

(設置)

第1条 史跡安国寺集落遺跡の保存及び活用を図るとともに、市民にこれと親しむ場を提供し、もって教育・学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)第18条の規定に基づき、歴史体験学習館を設置する。

(名称及び位置)

第2条 歴史体験学習館の名称及び位置は、次のとおりとする。

- 1 名称 国東市歴史体験学習館
- 2 位置 国東市国東町安国寺1639番地2

(構成)

第3条 国東市歴史体験学習館(以下「体験学習館」という。)は、体験学習施設及び弥生のムラ安国寺集落遺跡(以下「弥生のムラ」という。)をもって構成し、次に掲げる施設を置く。

- 1 体験学習施設 学習館及び発掘体験舎
- 2 弥生のムラ 復元建物広場、生産広場、土舞台その他必要な施設(管理)

第4条 体験学習館は、国東市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が管理する。

(事業)

第5条 体験学習館は、次に掲げる事業を行う。

- 1 史跡安国寺集落遺跡及びその周辺地域の環境を保全し、及び活用すること。
- 2 国東市及び周辺地域に関する歴史資料、考古資料、民俗資料等(以下「歴史資料等」という。)の収集、保管及び展示に関すること。
- 3 古代の人々の歴史、生活及び文化に触れる体験学習の実施に関すること。
- 4 歴史資料等に関する専門的及び技術的な調査研究に関すること。
- 5 歴史資料等に関する知識の普及及び啓蒙に関すること。
- 6 学校、図書館、公民館その他教育、学術又は文化に関係する諸施設との協力及びその活動の援助に関すること。
- 7 前各号に掲げる事業のほか、体験学習館の目的を達成するために必要な事業

(職員)

第6条 体験学習館に、館長その他必要な職員を置く。

(利用の申込み等)

第7条 体験学習館(弥生のムラを除く。)を利用しようとする者は、受付で口頭により利用を申し込みなければならない。

2 弥生のムラを利用しようとする者は、利用しようとする日の10日前までに館長の許可を受けなければならない。許可に係る事項を変更しようとするときも、同様とする。

3 館長は、弥生のムラの管理上必要があると認めるときは、前項の許可に条件を付することができる。

(行為の制限等)

第8条 体験学習館において、次に掲げる行為をしてはならない。ただし、第4号及び第5号に掲げる行為について、館長の承認を受けたときは、この限りでない。

- 1 酒気を帯び、又は暴力を振るう等他人に迷惑を及ぼす行為
- 2 危険物、動物その他他人に危害を及ぼし、又は迷惑となる物を持ち込むこと。
- 3 定められた場所以外で飲食し、喫煙し、又は火気を使用すること。
- 4 宣伝、物品の販売、募集その他これらに類する行為をすること。
- 5 体験学習館の資料を模写し、又は撮影すること。
- 6 前各号に掲げるもののほか、館長が、体験学習館の管理上必要を認めて禁止する行為

2 館長は、前項の規定に違反した者に対して、退去を命ずることができる。

(利用許可の取消し)

第9条 館長は、弥生のムラの利用の許可を受けた者(以下「利用者」という。)が、次の各号のいずれかに該当するときは、当該許可を取り消し、行為の中止、原状回復及び施設からの退去を命ずることができる。

- 1 偽りその他不正の行為により利用の許可を受けたとき。
- 2 公の秩序又は風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- 3 前2号に掲げる場合のほか、館長が必要と認めるとき。

2 前項の措置によって利用者が受けた損失については、市は、賠償の責めを負わない。

(使用料)

第10条 体験学習施設を利用しようとするものは、別表に定める使用量を納付しなければならない。

(使用料の減免)

第11条 市長は、必要があると認めるときは、使用料を減額し、又は免除することができる。

(使用料の不還付)

第12条 既に徴収した使用料は、還付しない。ただし、相当の理由があると認めるときは、その全額又は一部を還付することができる。

(損害賠償の義務)

第13条 体験学習館の資料及び施設を損傷し、又は滅失した者は、それによって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(協議会)

第14条 体験学習館の運営に関し館長の諮問に応じるとともに、体験学習館の行う事業等について館長に対して意見を述べるための法第20条の規定により、体験学習館に国東市歴史体験学習館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は、委員10人以内をもって組織する。

3 委員の任期は、2年とし、再任は妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委任)

第15条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(過料)

第16条 詐欺その他不正の行為により、この条例に定める使用料の徴収を免れた者については、その免れた金額の5倍に相当する金額(当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。)以下の過料に処する。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成18年3月31日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日(以下「施行日」という。)の前日までに、合併前の国東町歴史体験学習館の設置及び管理に関する条例(平成13年国東町条例第6号。以下「合併前の条例」という。)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

3 施行日の前日までの利用許可に係る合併前の条例の規定による使用料については、なお合併前の条例の例による。

4 施行日の前日までにした行為に対する罰則の適用については、なお合併前の条例の例による。

別表(第10条関係)

体験学習施設使用料

| 使用料の名称 | 区 分 | | 単 位 | 金 額 | 備 考 | |
|--------|---------|-------------|------------|----------|---------------------|---|
| 観 覧 | 常 設 展 示 | 個 人 | 一般・大学生・高校生 | 1人 1回 | 200円 | 1 「一般・大学生・高校生」とは、大人、大学の学生、高等専門学校の学生、高等学校の生徒及びこれらに準ずる者をいう。 2 「中学生・小学生」とは、中学校の生徒、小学校の児童及びこれらに準ずる者をいう。 3 「団体」とは、20人以上のものをいう。 |
| | | 中 学 生・小 学 校 | 〃 | 〃 | 100円 | |
| | 団 体 | 一般・大学生・高校生 | 〃 | 〃 | 150円 | |
| | | 中 学 生・小 学 校 | 〃 | 〃 | 50円 | |
| 料 | 特 別 展 示 | 個 人 | 一般・大学生・高校生 | 〃 | その都度 市長が定 める額 | |
| | | 中 学 生・小 学 校 | 〃 | 〃 | | |
| | 団 体 | 一般・大学生・高校生 | 〃 | 〃 | | |
| | | 中 学 生・小 学 校 | 〃 | 〃 | | |

注 体験学習に係る原材料費等の経費は、利用者負担とする。

国東市歴史体験学習館条例施行規則

(平成18年3月31日)
教育委員会規則第30号

目次

- 第1章 総則(第1条)
- 第2章 組織(第2条—第6条)
- 第3章 運営(第7条—第19条)
- 第4章 国東市歴史体験学習館協議会(第20条—第22条)
- 第5章 雑則(第23条)

附 則

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規則は、国東市歴史体験学習館条例(平成18年国東市条例第117号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

第2章 組織

(係の設置)

第2条 国東市歴史体験学習館（以下「体験学習館」という。）に管理係及び学芸調査係を置く。

（分掌事務）

第3条 管理係においては、次の事務をつかさどる。

- 1 公印の保管に関すること。
 - 2 文書の收受、発送、編集及び保存に関すること。
 - 3 職員の身分及び服務に関すること。
 - 4 予算の執行等に関すること。
 - 5 国東市歴史体験学習館協議会に関すること。
 - 6 関係機関及び関係団体との連絡調整に関すること。
 - 7 施設及び設備（史跡公園安国寺集落遺跡を含む。）の維持管理に関すること。
 - 8 施設及び設備の利用に関すること。
 - 9 前各号に掲げるもののほか、学芸調査係の所掌に属さない事項に関すること。
- 2 学芸調査係においては、次の事務をつかさどる。
- 1 歴史資料、考古資料、民俗資料等（以下「歴史資料等」という。）の収集、整理及び保管に関すること。
 - 2 体験学習の企画及び実施に関すること。
 - 3 常設展示及び特展別示の企画及び実施に関すること。
 - 4 史跡公園安国寺集落遺跡の保全及び活用に関すること。
 - 5 歴史資料等に関する専門的及び技術的な調査研究に関すること。
 - 6 歴史、考古、民俗等（以下「歴史等」という。）についての講演会、講習会及び研究会の開催に関すること。
 - 7 市民の歴史等に関する調査研究活動の援助に関すること。
 - 8 学校、図書館、公民館等諸の施設に対する歴史等についての協力及び活動の援助に関すること。
 - 9 歴史資料等についての案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等の刊行に関すること。

（職員の職）

第4条 体験学習館の職員の職として、次の職を置く。

- 1 館長
- 2 副館長
- 3 係長
- 4 学芸員
- 5 研究員
- 6 主査、主任又は主事
- 7 指導員
- 8 管理員

（職員の職務）

第5条 館長は、上司の命を受け、体験学習館の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

- 2 副館長は、館長を補佐し、体験学習館の事務を処理する。
- 3 係長は、上司の命を受け、係の事務を処理する。
- 4 学芸員及び研究員は、上司の命を受け、体験学習の企画及び実施に関する事務並びに歴史資料の収集、保管、展示その他これと関連する専門的業務並びに歴史資料等の調査研究及び教育啓蒙に関する事務を処理する。
- 5 主査、主任及び主事は、上司の命を受け、事務に従事する。
- 6 指導員は、上司の命を受け、体験学習の指導に従事する。
- 7 管理員は、上司の命を受け、体験学習館の管理に従事する。

（職員数）

第6条 職員の数、別に定める。

第3章 運営

（開館時間）

第7条 体験学習館の開館時間は、午時9前から午後5時までとする。ただし、体験学習館を利用しようとする者が入館できる時間は、午後4時30分までとする。

（休館日）

第8条 体験学習館施設の休館日は、次のとおりとする。ただし、館長が特に必要があると認めるときは、教育長の承認を受けてこれを変更し、又は臨時に休館することができる。

- 1 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たる場合は、その日後において、その日に最も近い休日でない日（土曜日及び日曜日を除く。））
 - 2 休日の翌日（その日が休日に当たる場合は、その日後において、その日に最も近い休日でない日（土曜日及び日曜日を除く。））
 - 3 12月29日から翌年の1月4日までの日（前2号に掲げる日を除く。）
 - 4 特別整理期間として、年間30日以内で館長が定める日
- 2 弥生のムラは、12月29日から翌年の1月4日までの間は閉園するものとする。ただし、館長が特に必要があると認めるときは、教育長の承認を受けてこれを変更し、又は臨時に閉園することができる。

（利用の許可の申請）

第9条 条例第7条第2項の規定により弥生のムラの利用の許可を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、弥生のムラ利用許可申請書（様式第1号）を館長に提出しなければならない。

2 前項に規定する利用の許可の申請は、利用しようとする日の3箇月前からすることができる。

（利用許可書の交付）

第10条 館長は、弥生のムラの利用を許可したときは、弥生のムラ利用許可書（様式第2号）を申請者に交付する。

（利用者の遵守事項）

第11条 利用者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- 1 関係職員の指示に従うこと。
- 2 体験学習館における秩序の保持・保全に万全を期すこと。

（利用者の義務）

第12条 利用者は、各施設、展示品等を汚損し、又は損傷したときは、直ちに館長に報告し、汚損・損傷の届出書（様式第3号）を提出しなければならない。

2 市長は、前項の届出があったときは、損害の賠償を求めることができる。

（使用料の納期）

第13条 利用者は、入館の際に条例第10条に規定する使用料を納付しなければならない。ただし、館長が特に必要があると認めるときは、館長の指定する日までに納付することができる。

（歴史資料等の閲覧）

第14条 館長は、調査研究に供するため必要と認めるときは、次に掲げる場合を除き、歴史資料等を閲覧させることができる。

- 1 歴史資料等の保存に影響を及ぼすおそれがあると認めるとき。
 - 2 歴史資料等が展示されているとき。
 - 3 前2号に掲げる場合のほか、館長が不適当と認めるとき。
- 2 歴史資料等の閲覧を受けようとするものは、歴史資料等閲覧申請書（様式第4号）により館長に閲覧の許可を申請し、その許可を受けなければならない。

（歴史資料等の館外貸出し）

第15条 歴史資料等は、館外貸出しを行わないものとする。ただし、博物館、図書館、学校その他のもので館長が適当と認めるところについては、この限りでない。

2 歴史資料等の館外貸出しを受けようとする者は、歴史資料等館外貸出申請書（様式第5号）により館長に館外貸出しの許可の申請をしなければならない。

3 前項に規定する申請があった場合は、館長は、その適否を審査し、適当と認めるときは、歴史資料等館外貸出許可書（様式第6号）を当該申請した者に交付し、館外貸出しを許可するものとする。

（歴史資料等の寄贈等）

第16条 体験学習館に歴史資料等を寄贈しようとする者は、別に定めるところにより、館長に申し出るものとする。

（歴史資料等の寄託）

第17条 体験学習館に歴史資料等を寄託しようとする者は、別に定めるところにより、館長に申し出るものとする。

（使用料の減免の申請）

第18条 使用料の減額又は免除を受けようとする者は、あらかじめ学習館使用料減免申請書（様式第7号）を市長に提出しなければならない。

2 市長は、前項の申請を承認したときは、学習館使用料減免決定通知書（様式第8号）を交付する。

（使用料の還付の申請）

第19条 条例第12条ただし書の規定により使用料の還付を受けようとする者は、学習館使用料還付申請書（様式第9号）を市長に提出しなければならない。

第4章 国東市歴史体験学習館協議会

（会長及び副会長）

第20条 国東市歴史体験学習館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、協議会の委員の互選による。
- 3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 4 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第21条 会議は、会長が招集し、その議長となる。

- 2 会議は、委員の半数以上が出席しなければ、開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（庶務）

第22条 協議会の庶務は、体験学習館において処理する。

第5章 雑則

（その他）

第23条 この規則に定めるもののほか、体験学習館の運営等に関し必要な事項は、館長が定める。

附則

（施行期日）

1 この規則は、平成18年3月31日から施行する。

（経過措置）

2 この規則の施行の前日までに、合併前の国東町歴史体験学習館管理運営規則（平成13年国東町教育委員会規則第8号）の規定によりなされた手続その他の行為は、この規則の相当規定によりなされたものとみなす。

様式第1号(第9条関係)

弥生のムラ利用許可申請書

| | |
|-----------|-------------------|
| 利用施設 | |
| 利用日時 | 年 月 日 自 時 分 至 時 分 |
| 利用目的 | |
| 参加予定人数 | |
| 責任者 | 住所 氏名 電話 |
| 電気施設利用の有無 | 有・無 |

国東市歴史体験学習館条例施行規則に基づき、上記のとおり利用許可を申請いたします。
 なお、この申請により利用許可を受けた場合は、条例、規則及び指示事項を確実に履行します。

年 月 日
 申請者 住所
 氏名
 電話番号

国東市歴史体験学習館長 様

様式第2号(第10条関係)

弥生のムラ利用許可書

平成 年 月 日

申請者

国東市歴史体験学習館

印

付けでありました申請について下記のとおり許可します。
 記

1 利用施設
 又は区域

2 利用日時

3 利用目的

4 参加予定人数

5 備考 国東市歴史体験学習館条例施行規則を遵守すること。
 善良な利用者として注意義務を守り利用すること。

- ※ 注意事項 (1) 高床住居の内部に入らないでください。
 (2) 一般入園者の見学を阻害しないでください。
 (3) 大溝の中には入らないでください。
 (4) 園内美化に協力(ゴミの持ち帰り等)をしてください。
 (5) その他職員の指示に従ってください。

様式第3号(第12条関係)

汚損・損傷の届出書

年 月 日

国東市歴史体験学習館長 様

届出者 住所
 氏名
 電話番号

下記施設を損傷させましたので、国東市歴史体験学習館条例施行規則に基づき届出をす
 るとともに、原状に回復することを誓います。

記

- 1 汚損・損傷・焼失施設名

様式第4号(第14条関係)

歴史資料等閲覧申請書

年 月 日

国東市歴史体験学習館長 様

申請者 住所(所在地) _____
 氏名(名称) _____
 (代表者名) 印 _____
 (連絡先電話) _____

下記の資料を閲覧したいので、国東市歴史体験学習館条例施行規則第14条の規定により
 下記のとおり申請します。

記

| 閲覧目的 | 資料番号 | 数量 | 備考 |
|------|------|----|----|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

様式第5号(第15条関係)

歴史資料等館外貸出申請書

年 月 日

国東市歴史体験学習館長 様

申請者 住所(所在地)
氏名(名称)
(代表者名) 印
(連絡先電話)

国東市歴史体験学習館所蔵の体験館資料の貸出を受けたいので国東市歴史体験学習館条例施行規則第15条第2項の規定により下記のとおり申請します。

記

| 利用目的 | | | | | |
|-------|------|---|---|---|---|
| 貸出期間 | | | | | |
| 利用場所 | | | | | |
| 利用方法 | | | | | |
| 貸出資料名 | 資料番号 | 数 | 量 | 備 | 考 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 輸送方法 | | | | | |
| 取扱責任者 | | | | | |

様式第7号(第18条関係)

学習館使用料減免申請書

年 月 日

国東市長 様

申請者 住所(所在地)
氏名(名称)
(代表者名) 印
(連絡先電話)

国東市歴史体験学習館の使用料の減額・免除を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

| | |
|------------|----------------------------|
| 減額・免除申請の理由 | |
| 入館年月日 | 年 月 日(曜日) |
| 在館時間 | 午前・午後 時 分から 午前・午後 時 分まで |
| 入館者数 | 人 |
| 引率者氏名 | |

様式第8号(第18条関係)

学習館使用料減免決定通知書

第 号
年 月 日

様

国東市長 印

年 月 日付けで申請がありました国東市歴史体験学習館の使用料の減額・免除について、次のとおり減額・免除します。

| 減額・免除申請の理由 | | |
|------------|----------------------------|------|
| 入館年月日 | 年 月 日(曜日) | |
| 在館時間 | 午前・午後 時 分から 午前・午後 時 分まで | |
| 入館者数 | 人 | |
| 引率者氏名 | | |
| 使用料 | 金額 | 算出基礎 |
| | | |
| 減額・免除の額 | 円 | |
| 差引納付額 | 円 | |
| 納付日 | 年 月 日 | |

様式第9号(第19条関係)

学習館使用料還付申請書

年 月 日

国東市長 様

住所(団体名)
申請者 氏名(代表者) 印
電話

次のとおり、国東市歴史体験学習館の使用料の還付を申請します。

| | |
|------------|-------|
| 許可番号 | 第 号 |
| 許可年月日 | 年 月 日 |
| 利用を取りやめた施設 | |
| 理由 | |
| 既納の使用料 | 円 |
| 還付申請額 | 円 |
| 還付金額 | 円 |
| 備考 | |

国東市歴史体験学習館年報 第9号

発行日 平成22年3月(2010)

発行 国東市歴史体験学習館
〒873-0504 国東市国東町安国寺1639-2
TEL 0978-72-2677
FAX 0978-72-2505

印刷 明治印刷株式会社

